# 緑の湖畔に息づくアイヌ文化を次の世代へ

## ●「民族共生の象徴となる空間」の意義と役割

「民族共生の象徴となる空間」（象徴空間）は、平成21（2009）年7月に内閣官房長官に提出された「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告で、今後のアイヌ政策の「扇の要」となる政策として提言されました。

この象徴空間は、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、アイヌ文化が直面している課題に対応しつつ、我が国が将来へ向け、多様で豊かな文化や異なる民族との共生を尊重する社会を形成するためのシンボルとなるものです。

象徴空間は、緑豊かな北海道白老町のポロト湖畔に整備され、アイヌ文化復興の「ナショナルセンター」として、次のような機能を備えることが期待されます。

### 象徴空間の具体的な機能※

○展示等機能
- 先住民族としてのアイヌの歴史、文化等の総合的・一体的な展示、実践的な調査研究、伝承者等の人材育成
- 国立を含め、国が主体的に文化施設（博物館等）を整備

○体験・交流機能
- 文化伝承・体験学習活動（伝統的家屋、山・海・川の活用）
- 国内外の文化との交流（海外の先住民族文化との交流等）

○文化施設周辺の公園機能
- 豊かな自然を活用した憩いの場等の提供

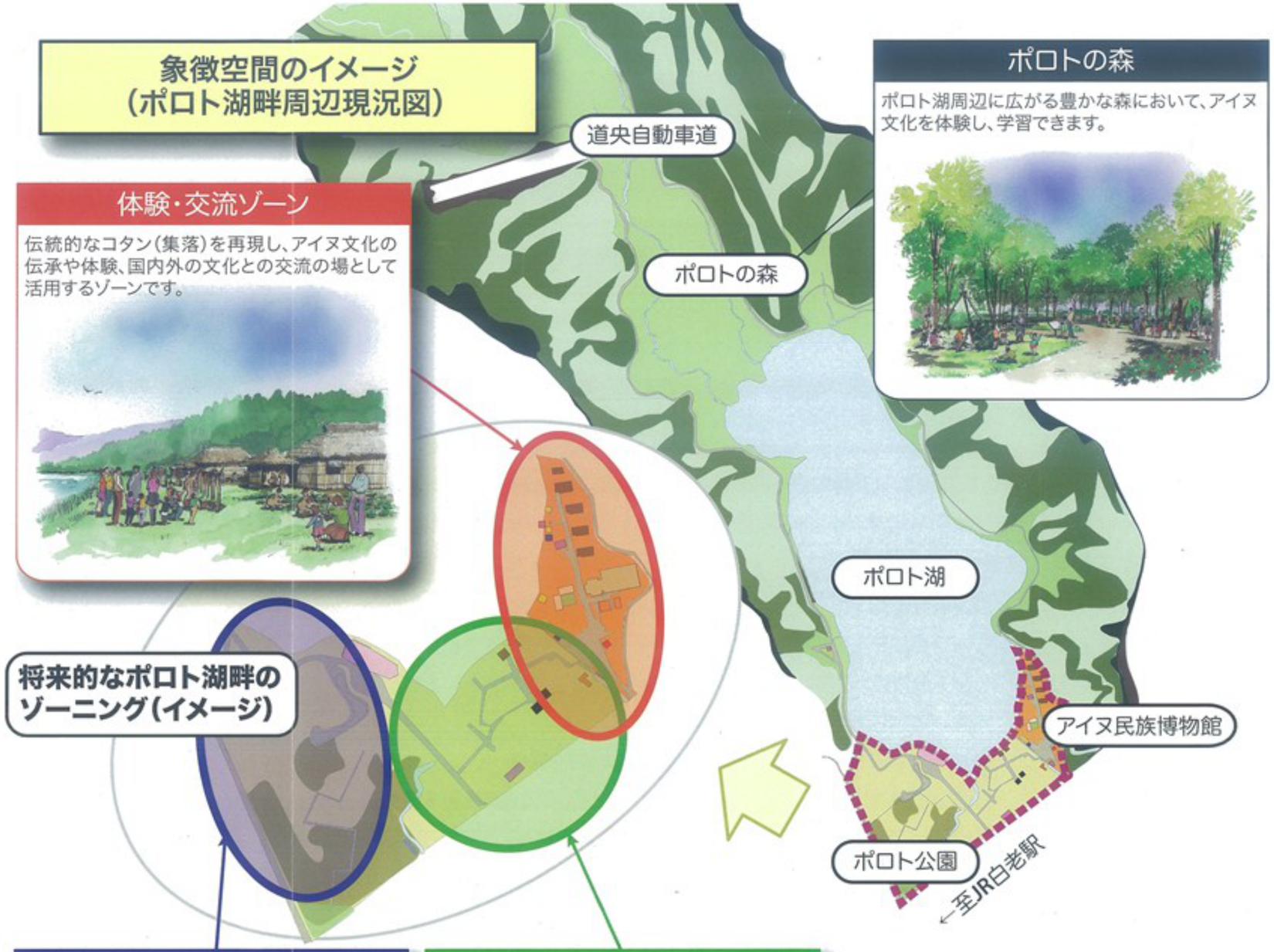
○アイヌの精神文化を尊重する機能
- 伝統的儀式を行える広場等
- 大学等にあるアイヌ人骨のうち、遺族等への返還の目途が立たないものは、国が 主導して象徴空間に集約し、尊厳ある慰霊に配慮

※アイヌ政策推進会議「民族共生の象徴となる空間」作業部会報告の概要（平成23年6月）

ポロト湖から見たチセ

伝統的な丸木舟

## 象徴空間のイメージ（ポロト湖畔周辺現況図）




### 体験・交流ゾーン

伝統的なコタン（集落）を再現し、アイヌ文化の伝承や体験、国内外の文化との交流の場として活用するゾーンです。



### ポロトの森

ポロト湖周辺に広がる豊かな森において、アイヌ文化を体験し、学習できます。



### 博物館ゾーン

博物館を中心とした、アイヌの歴史や文化等の展示、調査研究の他、伝承者の人材育成などを行うゾーンです。

### 中央広場ゾーン

象徴空間に来ていた方々を歓迎し、目の前に広がるポロト湖やポロトの森など、豊かな自然を体感していただくゾーンです。

### 伝統的漁法の体験など

海や川など豊かな自然を背景に、アイヌ伝統的漁法の体験交流活動なども行われる予定です。

（注）これらの図は現時点のイメージであり、実際に整備される施設の配置、デザイン、内容等とは大きく異なる場合があります。